

平成30年度第7回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「恋瀬川支流の豊かな生き物を観察しよう」を実施しました。

日 時：平成30年9月22日（土）午前9時30分から午後3時まで

場 所：恋瀬川支流の川又川(石岡市)

参加者：28名

結 果： 前日に降雨があり、川又川の水位が上昇して川に降りられないのではと危惧しましたが、川又川の水位は普段より少し上昇して、中洲にも泥がたまっているようでしたが、水に濁りはないので、みんなで中洲に降りました。

子供達はタモを持ち、たまった泥に足をとられながらも、流れのところまで行って水に入り、魚とりを開始しました。魚とりを開始して間もなく、次から次へと魚がとれ、子供達は次第に夢中になってきましたが、全身泥だらけにもなってきました。また、大人もタモを持って水に入り、子供に負けず魚とりに夢中になったようです。たちまちバケツは魚やカニ、水生昆虫などで一杯になり、子供達はバケツを覗き込んだり、バケツから逃げ出したカエルを追いかけたりして大騒ぎしていました。タイコウチは小魚がたくさんいるバケツに入れられたので、早速、小魚を捕まえて食事をしていました。楽しい時間も早く過ぎ、お昼近くになったので、川から上がり泥をきれいにした後、とれた魚類などを中村パートナーに説明していただきました。子供達は観察槽に入ったナマズの仲間のギバチに興味を示していました。

午後に恋瀬川河口で事前に採取した水と川又川の水の水質を比較しました。恋瀬川河口で採取した水は、このところの降雨により通常よりもきれいであったので、透視度とCODでは両地点の値に大きな差が見られませんでした。電気伝導度では川又川の水が恋瀬川河口の水の半部以下の値を示し、霞ヶ浦より川又川の水がずっときれいであることを示しました。その後、杉線香を製造している駒村清明堂さんへ行って水車を見学しました。子供達は勢いよく回る水車を見て喜んでいました。

最後になりましたが、いつも快く協力をいただいている、ガソリンスタンドの鬼沢石油さん、また、突然の訪問となりました駒村さんにお礼を申し上げます。

観察した主な生物：ギバチ、ドジョウ、ヨシノボリ、カワムツ、ヌマチチブ、テナガエビ、サワガニ、アメリカザリガニ、マシジミ、タイコウチ、コオイムシ、トウキョウダルマガエル、ヤゴ

水質調査結果

項目	霞ヶ浦	川又川
透視度	4.0～6.5 cm	4.0～5.7 cm
COD(パックテスト)	7～8 mg/L	6～7 mg/L
電気伝導度	34.9 mS/m	13.9 mS/m

次に観察会の様子を紹介します。

(腰塚昭温)



みんなで魚とり



ナマズの仲間のギバチ



餌を捕り合うタイコウチ



透視度の測定



水車の見学